

日本初となるマルチ交通シェアリングサービスの社会実験を6月8日より実施 「柏の葉・流山 いろんな乗り物 街乗り！シェアリング」

特定非営利活動法人 柏の葉キャンパスシティ IT コンソーシアム(KACITEC、所在地:千葉県柏市、代表:浅間一・東京大学教授)は、「柏の葉・流山 いろんな乗り物 街乗り！シェアリング」の社会実験を、千葉県柏市および流山市のつくばエクスプレス沿線エリアにおいて実施します。

エコカー、電動バイク、自転車のシェアリングサービスとオンデマンド対応型のポート送迎コミューターを統合運用し、これらの多様な次世代モビリティを利用者が目的に応じて使い分けられることのできる、日本初のマルチ交通シェアリングサービスとなります。

都市交通のCO2排出量削減や利便性向上等を目指した社会実験として、6月8日より7月5日までの約1ヵ月間、100名の一般モニターを募り、エリア内5ヵ所のポートで実施します。今後は、社会実験期間後の継続実施やポート増設なども視野に入れ、利用履歴や移動データの分析・検証を行ってまいります。

< マルチ交通シェアリングサービスの主な特徴 >

■ 環境に優しい次世代モビリティ

欧州自動車メーカーの電気自動車として日本初のシェアリング導入となる「スマート電気自動車」(メルセデス・ベンツ日本/ダイムラーAG)をはじめ、トヨタ「プリウス」、ヤマハの電動バイク「EC-03」、地域で共同利用するコミュニティサイクル「かしわスマートサイクル」、オンデマンド型の乗り合い交通システム「ポート送迎コミューター」など、次世代モビリティの数々がサービスラインアップとして並びます。(各車両/システムの詳細は添付資料を参照ください)

■ 全サービス共通のICカードと予約サイト

システムの統合運用により複数車種の交通サービスをひとつにまとめ、認証用のICカードや予約サイトを共通化しました。自動車、バイク、自転車といった車種の違いに関わらず、共通ICカードを各ポートのリーダーにかざすだけで貸出・返却が行えます。

■ 貸出・返却ポートはエリア内で自由に選択可能

充電スタンドを備えたポートをエリア内に複数設置し、貸出ポートと返却ポートを利用者が自由に選択できるサービス運用を行います。従来のカーシェアリングのようなラウンド(往復)利用だけでなく、ワンウェイ(片道)利用が可能になるため、無駄な移動に伴うCO2排出量の削減や利用時間の短縮につながります。

■ 出発地・目的地のすぐそばまで送迎

きめ細かい出発地・目的地のニーズには、エリア内に約60ヵ所設定した停留所と各ポートとをつなぐ「ポート送迎コミューター」が対応します。都市内の移動性向上を図り地域経済やコミュニティの活性化につながるほか、買物難民や閉じこもり高齢者などの交通弱者にとっても利便性の高い新たな交通システムとして展開します。



東京大学柏キャンパスに設置したポート



充電スタンド(両側のポール)とキー/ヘルメット管理BOX(中央)

柏の葉地域では、次世代環境都市を目指した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づき、新しい街づくりが進んでいます。2009年6月には、内閣府より全国で4番目の「ITS 実証実験モデル都市」として柏市が選定され、柏の葉地域を舞台に次世代モビリティの社会実験を推進していく目的で「柏 ITS 推進協議会」が2010年2月に発足しました。現在 50 以上の団体が協議会に加盟し、安全・安心な次世代モビリティの研究・開発、CO2 排出量・消費エネルギーの削減を目指した各種事業を進めています。

今回の社会実験は、柏 ITS 推進協議会からの企画・提案を受けて、特定非営利活動法人 柏の葉キャンパスシティ IT コンソーシアム(KACITEC)が主体となり、街づくりや交通に関わる自治体、民間企業、市民、大学といった公民学が連携して実施することとなりました。なお、今回の社会実験は、総務省の平成 22 年度「地域 ICT 利活用広域連携事業」の一環として実施するものです。

<マルチ交通シェアリングサービス社会実験の実施概要>

サービス名称:	柏の葉・流山 いろんな乗り物 街乗り！シェアリング
実施期間:	2011年6月8日(水)～7月5日(火)
実施場所:	柏の葉・流山エリア
貸出・返却ポート:	ポート A: 東京大学柏キャンパス ポート B: ららぽーと柏の葉 (柏の葉キャンパス駅前) ポート C: 流山セントラルパーク駅前 ポート D: 流山市水道局跡地 (流山市役所から約 250m) ポート E: 柏の葉フューチャービレッジ (各ポートに車両、キー/ヘルメット管理 BOX、充電スタンドを設置)
利用時間:	期間中の月～土曜 8:00～19:00 (貸出は 18:00 まで)
利用料金:	自動車 300 円/15 分 (全車種共通) 電動バイク 100 円/15 分 スマートサイクル 100 円/60 分 ポート送迎コミューター 無料 (登録料・基本料金ともに無料)
利用モニター:	100 名を一般募集 (応募方法はホームページを参照)
利用方法:	携帯電話等で専用サイトにアクセスし、利用車両、利用時間、貸出ポート、返却ポートを指定して予約。各ポートに設置された管理 BOX にて IC 認証を行い、車両のキーやヘルメットを受け取り、利用開始。利用後は同様に各ポートにて IC 認証を行い返却。
主催:	特定非営利活動法人 柏の葉キャンパスシティ IT コンソーシアム(KACITEC)
協力:	柏市、流山市、財団法人柏市都市振興公社、東京大学大学院新領域創成科学研究科、柏の葉アーバンデザインセンター、柏 ITS 推進協議会、三井不動産株式会社、ららぽーと柏の葉、メルセデス・ベンツ日本株式会社、トヨタ自動車株式会社、ヤマハ発動機株式会社、トーマス株式会社、サイカパーキング株式会社
運営:	株式会社アスク
ホームページ:	http://www.udck.jp/exp/

【お問い合わせ先】「柏の葉・流山 いろんな乗り物 街乗り！シェアリング」運営事務局	
■ 一般の方のお問い合わせ窓口 TEL:080-4112-3535 (8:00～19:00、日曜日を除く)	■ 報道関係の方のお問い合わせ窓口 TEL:090-3510-5586 (広報担当:小林)

[添付資料]

■ 特定非営利活動法人 柏の葉キャンパスシティ IT コンソーシアム(KACITEC)について

情報技術を新たな街づくりに生かすために、東京大学を中心とした研究者、千葉県、柏市、流山市、数十社の企業等と共に、2005年4月に設立。柏・流山エリアを社会実験の場として活用し、産学官の組織および研究者等の連携のもと、将来の街に必要な次世代の生活・産業支援システムを研究開発し、広く他都市にも普及できるように産業化を進めている。

■ 「柏の葉・流山 いろんな乗り物 街乗り！シェアリング」サービス対象車種/システム



スマート 電気自動車

「スマート フォーツー」をベースに、リチウムイオンバッテリーを装備し、航続距離135km(欧州測定値)、最高速度100km/hを実現した電気自動車。現在は、2012年以降に予定している市販に向け、欧州をはじめ世界各国で実証実験を行っている。日本において一般ユーザを対象とする社会実験は今回が初。



スマート フォーツー mhd

極小ボディサイズに、メルセデス・ベンツ基準の安全性や走行性をそなえたマイクロコンパクトカー。アイドリング時のエンジンストップに加え、スムーズなエンジンスタートを実現する「mhd (マイクロ・ハイブリッド・ドライブ)」を搭載。減速時に再生ブレーキで充電される電気エネルギーをエンジンスターターに使用するエコカー。



トヨタ・プリウス

世界初の量産ハイブリッドカーとして1997年に発売し、現在は世界約70カ国以上の地域で販売されているエコカー。エンジン効率の進化やモーター、発電機などの小型・軽量化により38.0km/L*という優れた低燃費を実現。

*10・15モード走行(国土交通省審査値、Lグレードの場合)



ヤマハ・EC-03

都市部での近距離移動に適した機能・走行性能を備えた電動バイク。50Vリチウムイオンバッテリーと超薄型パワーユニットを軽量アルミ合金製フレームに搭載。1充電あたりの走行距離43kmを実現したほか、一般家庭でも充電可能なプラグイン充電方式を採用している。



かしわスマートサイクル

地域で自転車を共同利用するコミュニティサイクル。通常のレンタサイクルと違い、どのポートでも貸出・返却ができるシステムをICT技術で構築。2009年より柏の葉エリアを中心に社会実験を開始し、現在は利用登録者450名以上、1台あたりの回転率も全国トップクラスと、地域の新交通サービスとして定着。今回初めて、柏市内のみならず流山市まで含めた広域エリアでの実施展開となる。



ポート送迎コミュニーター

バスのような乗合形式で、タクシーのように任意の場所まで運ぶ、オンデマンド型の交通システム。東京大学が開発したオンデマンド交通「コンビニクル」をベースに活用。路線バスのような既定の運行計画はなく、利用者の予約状況に応じて、最適な経路をコンピュータが高速設計し、乗合人数の最大化、待ち時間の最小化、到着時間の保証を図る。